



**2023年度 第19期
事業計画書**
2023年3月12日総会資料

特定非営利活動法人フリー・ザ・チルドレン・ジャパン

〒157-0062東京都世田谷区南烏山6-6-5安藤ビル3F
TEL : 03-6321-8948
Email: info@ftcj.org
URL : <https://www.ftcj.org>

認定NPO法人フリー・ザ・チルドレン・ジャパン
2023年 事業計画
2023年1月1日から2023年12月31日まで

1. 2023年度の事業実施方針

新型コロナウイルス感染拡大から4年目を迎え、世界的に状況がだいぶ落ち着きを取り戻してきました。フィリピンの状況を見てみると、2020年度は-9.5%のマイナス経済成長率でしたが、2022年は予想を上回る+7.6%の成長率だったとフィリピン統計局は発表しました。日本の成長率2%弱と比較すると、好調であるように思われます。しかし、フィリピンを実際に2022年度末に訪問して感じたことは、好調な経済成長の恩恵を受けているのは富裕層のみで、社会構造を変えない限り、富の再分配がされずに貧困層はますます貧困化へ陥り、二極化を肌で感じました。

ロシアによるウクライナへの侵略は1年を迎え、未だに収束の気配がありません。また、トルコやシリアでは未曾有の大地震によりたくさんの人たちが被害に遭っています。今年に入っても明るいニュースがあまり聞かれていませんが、フリー・ザ・チルドレン・ジャパンとしては、国際協力事業でつながりのある現地のパートナーとともに、コロナや世界情勢によって影響を受け貧困のなかにおかれている人々への自立支援、特に子どもへの教育支援に取り組んでいきたいと思っています。コロナの感染状況が国内外で落ち着きをみせていることから、今年度は4年ぶりにスタディツアーの再開や、インドへの事業地の訪問などを計画しています。

国内に目を向けると、子どもをめぐる状況は引き続き課題が多く、2022年に自らの命を絶った小中高生は11月までの暫定値で441人で通年で過去2番目に多かった21年に並ぶ高水準だったと報道されました。2022年に子ども基本法が成立したことから、法律だけでなく、しっかりと子どもの声を聴く社会にしなければいけないと感じています。一日も早く生きづらさを感じている子どもの状況を改善するために、政府任せにするのではなく、フリー・ザ・チルドレン・ジャパンとして子どもの権利の実現において様々な組織と連携して子どもとともに活動していきたいと考えています。その第一弾として、今まで2度オンラインでの実施をしていたチェンジメーカー・フェスですが、初めて会場で実施できるように準備をすすめ、子どもの権利を考える機会にしようと計画しています。

これらの状況や課題を踏まえ、2023年度は下記の活動に注力したいと計画しています。

▼2023年度重点活動

1. 国際協力事業の現地パートナー団体へのスタディツアーの再開と、現地訪問を通じた協働計画立案の実施
2. チェンジメーカー・フェスのオフライン初開催
3. 子どものウェルビーイングの向上のための教材開発とその教材を使っのワークショップの実施
4. 子どもの権利保障のための法整備に向け、子ども参加による政策提言活動の実施
5. WE教育プログラム（子ども若者が、社会課題に向き合い解決に向けたアクションを起こしていくサービスマーケティングプログラム）を全国の学校や青少年グループに対して展開していくための取り組みの強化

以上、改めまして、FTCJを応援しともに歩んでくださるメンバーやサポーターなどすべてのご協力くださる皆さまに心より感謝いたします。2023年度もどうぞよろしくお願いいたします。

代表理事 中島 早苗

2023年度事業実施に関する計画（案）

<WE Movement>

・子ども主体活動

活動名	活動内容	日時	場所	受益対象者の範囲及び人数	事業予算(千円)
子どもアンバサダー企画活動	2023年度のアンバサダー（旧子ども代表委員）を募集し、アンバサダーがファシリテーターとなってフリーザチルドレンのメンバーを繋ぐイベントを実施。また、自分がおこなったソーシャルアクションをブログやSNSで発信する取り組みも促す。 また、アンバサダーは総会へ出席し組織運営について意見することができる。	通年	全国	子どもメンバー 約800人～	300
メンバーチーム活動	メンバー登録する子どもやユースが目的に応じてチームを組んでの活動する。 ▼チョコレートプロジェクト ▼オンラインごみ拾いイベント ▼その他	通年	全国	子どもメンバー 約800人～	500

・子ども活動応援

活動名	活動内容	日時	場所	受益対象者の範囲及び人数	事業予算(千円)
子ども若者育成	Take Action Campの実施 日本国内でオフライン/オンラインでキャンプを実施する。 (Take Action Campとは、子どもや若者が国内外の社会問題を知り、その解決に向けてアクションをおこなうためのノウハウを学び、自分に何が出来るかを考えるための合宿型育成研修イベント)	夏休みに3泊4日の合宿型を実施、その他オンラインにて数回実施	日本	国内の子ども・ユース 70人	3,000
	ファシリテーター育成活動 リーダーシップトレーニングキャンプやワークショップを実施するためのファシリテータースタッフの育成をする。子どもの権利を理解、尊重し、子どもに接することができるような人材育成をする。また、育てたファシリテーターの活躍の場を提供する。	通年	主に東京都	全国のユース30人	1,000
	スタディーツアー フィリピンへのスタディーツアーを、春休み中に実施予定。約1週間支援先の現地を訪問し、国際協力について学び考える。	3月～4月	フィリピン	中学生以上 15人	2,000

子どもメン バー 活動サポ ート	<p>①子どもやユースメンバーなどで構成される活動チームの育成、サポート、チームの存在を紹介する広報活動を実施。</p> <p>▼We are the MOVEMENT 子ども・ユースメンバーからプロジェクト企画を募り、選考し、選ばれたプロジェクトの実施のサポートを事務局で行う。また選ばれたメンバーはFesのアンバサダーとしても活動してもらう。採用プロジェクト数は6件を予定。</p>	通年	全国	チームに所属する全国の子ども達 80人	1,500
	<p>②Weunion 子どもメンバーのギャザリング 年に1回同窓会、活動発表の場を設け交流を図る</p>	通年	全国	子どもメンバー (約800人～)	150
	<p>③全国の子どもメンバーからの質問、活動へのサポート 子ども達からの質問対応、情報提供などまた、子どもが活動しやすい会員制度の検討 ▼アクションキットを使いアクションを促す ▼フードドライブアクションキャンペーンの強化秋にフードドライブキャンペーンを強く打ち出しし、各地で子どもたちがフードドライブアクションを起こせるようなサポート・PRを行う。京王線、中央線駅と連携を模索し、地域とつながりを持ち、子ども達が参加しやすい機会を創出する。</p> <p>▼「広げよう！子どもの権利条約」キャンペーンと連動して子どもメンバーが政策提言に関わるためのキャンペーン活動を強化する</p>	通年	全国	子どもメンバー (約800人～)	1,000

・外部ネットワーク活動

活動名	活動内容	日時	場所	受益対象者の範囲及び人数	事業予算(千円)
外部ネットワーク構築	<p>①CL-Net(児童労働ネットワーク)・NGO労組協働フォーラムへの運営委員参加と事業実施 ②JNNE(途上国の子ども教育支援事業NGOのネットワーク)への運営委員参加と事業実施 ③他組織の会員になって他団体と繋がって活動する。(新公益連盟、関西NGO、SDGsネットワーク) ④「広げよう！子どもの権利条約」キャンペーンの運営と参加 ⑤フェアトレードタウンを世田谷で推進するためのネットワークへの参加 ⑥関西でのNGO/NPOネットワークへの参加</p>	通年	全国	子どもの権利を侵害されている開発途上国及び国内の子ども	1,500

・アドボカシー（啓発）活動

活動名	活動内容	日時	場所	受益対象者の 範囲及び人数	事業予算 (千円)
出前授業	全国出張講演 国際協力や国際理解教育、人権教育に関心のある学校や地域、団体などからの要請を受け、出張講演を実施する。 2023年目標：オンラインオフライン計1万人へ実施する。	通年	全国	全国の子ども・一般人：10,000人 教員：100人	3,000
FTCチェンジメーカー教育プログラム	①教材開発 wellbeingの教材開発と普及。 ②全国展開 全国の学校など教育機関に、チェンジメーカー教育プログラムの周知を行い、学校登録を促す。学校との連携事業を強化する。 ③キャンペーンキット 文化祭向けキットの改定、子どもの権利条約についての教材 ④上記内容管理・教材更新	通年	全国	全国の子ども達・一般人：10,000人 教員：100人	2,000
WE TALK "SOCIAL"	参加者が社会問題について学び、ディスカッションを通じて学びを深めるためのオンラインイベントを開催する。キャンプで養成した大学生やその他のメンバーが中心となって、ファシリテーターを担う。（ワークショップ、講義形式どちらもあり） 開催方法：オンラインイベントを軸として企画 開催時期：年3回以上は実施する	通年	全国	全国の子ども達・一般人：100人	500
物販	貧困層の自立につながるフェアトレード商品や国際理解教育教材（DVD）や書籍などの仕入れ、紹介、販売、管理を行う。また店舗での委託販売先の開拓も開始する。 ▼児童労働シミュレーションカードゲーム等の教材販売促進キャンペーンを実施 ▼子どもが文化祭等で販売する商品の開発の継続 ▼オンラインショップを通じた販売の促進	通年	全国	全国のメンバー 800人～ 購入者 100人～	800
イベント	他団体主催によるイベントへの参加及びFTCJ主催イベントの開催： ▼他団体主催イベント パネル展示、動画上映、スピーチなどを通して、権利を奪われた子どもの現状や団体活動紹介をする。同時に物販活動も行う。 (グロフェス、ワンフェス、ユースワンフェス、サンタラン、愛地球まつり、世田谷区国際メッセ) ▼FTCJ主催イベント Fesとの連動全国イベントとして開催する。 プロギング、街頭募金、他	通年	全国	全国の子ども達 ・一般 10,000人	1,000

動画制作	先生や子どもたちのニーズに合わせて動画などを作成 ・子どもの権利理解 ・他	通年	全国	全国の子ども・教育関係者・その他一般 10,000人	1,000
メールマガジン/ ニュースレター/ア ニュアルレポート発行	①メールマガジンを毎月2回発行する。 ②ニュースレター（年3回）を発行する ①アニュアルレポート（年1回）を発行する。（各750部）	通年	団体 オフィス	全国の子ども達 ・一般 3,000人	800
SNS	子どもメンバー向け情報発信ツール構築・発信 ・SNS(LINE、instagram)を利用した活動内容を発信していく。	通年	団体 オフィス	子どもメンバー（約800人～）	1,560
webサイト	①子ども向け・大人向け、それぞれの入り口を作り、適切な情報が届くようにする。 ②支援先の情報、子どものアクションの情報を随時発信していく	通年	団体 オフィス	全国の子ども・教育関係者・その他一般 10,000人	1,200
問い合わせ 対応/オ フィス訪問 対応	学校単位での訪問・インターンの受け入れ、ボランティア、来客対応	通年	団体 オフィス	月1回ボランティアデー、事務所訪問など	113

・ Change Makers Fes

活動名	活動内容	日時	場所	受益対象者の範囲及び人数	事業予算(千円)
Change Makers Fes23開催	社会貢献活動をおこなった子どもや若者をエンパワーするFesを3月28日実会場で初開催する。	1～3月	全国	全国の子ども達 1000人～	15,000
Change Makers Fes24開催	2024年度会場開催に向けた準備	通年	全国	全国の子ども達 2000人～	23,000

自立支援事業：Free The Childrenプログラム
・海外事業

活動名	活動内容	日時	場所	受益対象者の範囲及び人数	事業予算(千円)
インド	【CCD支援】 西ベンガル州コルカタ付近にある現地NGO・CCDを通じて貧困地域へ教育支援や食糧支援、収入や保健向上事業を行う。	通年	西ベンガル州	貧困地域 4000人	800
	【リムラスクール支援】 マハラシュトラ州ムンバイ市内スラム地域の子どもを対象にした小学校リムラスクールに通う生活困窮家庭への奨学金支援の実施の可能性を探るため調査をする。	通年	マハラシュトラ州	スラム地域に暮らすスリムの子ども15人	200
フィリピン	【ミンダナオ島コミュニティ支援】 手紙を通じた交流「文通プログラム」の運営を通じた資金や助成金をもとに、先住民族の子どもが通う学校にトイレや手洗い場設置を行う。	通年	フィリピン ミンダナオ島	先住民族の子ども達 120人	2,500
	【プレダ基金子ども支援】 フィリピンのパートナーNGOプレダ基金を通じて、虐待を受けた子どもや、路上生活を強いられたり、法に抵触した子どもの自立に向けた包括的な支援を行う。	通年	ルソン島	虐待や刑務所から救出された子ども200人	300
	【障害者支援】 視覚障害のある低所得家庭の子どもを対象に、教育支援を行う。	通年	フィリピン	100人	200
ケニア	【FTCネットワーク活動】 ナロック群南ナロック県内の先住民族コミュニティを対象に、人々の健康向上のための包括的な保健支援を行う。また、先住民族の女の子が質の良い教育を受けられるよう、女子教育拡充支援を行う。	通年	ケニア	支援先農村の村民 1500人	1,000
ザンビア	【食糧支援】 ザンビアの首都ルサカを拠点に活動する現地NGOや地方自治体などと協働して貧困地域の子どもやその家族への食料支援を行う。	4月以降	ザンビア	100人	300

・国内事業

活動名	活動内容	日時	場所	受益対象者の範囲及び人数	事業予算(千円)
国内の子ども支援	【キャンプ・スカラシップ支援】経済的な理由などでキャンプへの参加をあきらめざるを得ない子どもを対象に無料で参加できるよう支援する。 【教育応援金支援】ひとり親家庭や新型コロナウイルスの影響を受けた世帯、その他様々な理由で家計がピンチな状況にある世帯の子どもを対象に教育応援金の提供を実施。	通年	全国	経済的課題に直面する国内の子ども160人	1,500

管理部・その他 この法人の目的を達成するために必要な事業に関する計画

管理部

活動名	活動内容	実施日時	実施場所	従事者の人数	事業予算(千円)
翻訳	事業の運営に関係する資料を日・英に翻訳	通年	東京	30	10
研修受講	円滑な組織・事務局運営のため研修を受講 事業実行のためのスキルアップ	通年	東京	8	50
個人情報管理	メンバーや協力者などの個人情報を整理し管理を行う	通年	東京	4	200
ファンディング	サポーター増強のためのWEBサイトの更新、googleアナリティクスの運用など ①キッズパワー募金の広報 団体の活動をわかりやすく伝え、団体を支えていただく人を増やしていく	通年	東京	3	200
問い合わせ対応	事務局に届く問合せや連絡に対応。対応例：事務所訪問、出張講演調整、教材や物販の注文、団体など組織からのアンケートへ返答、子ども、大学生、社会人からの質問返答、メンバー希望、団体への質問返答など	通年	東京	3	300
会計	組織の透明な会計のための団体に関する資金の流れを管理し、税務関係資料作成や帳簿を付けるなどの業務を実施	通年	東京	2	1,427
制度	チャイルドプロテクションからセーフガーディング作成	通年	東京	3	50
理事会・事務局運営	・中長期計画に基づき、連携をする。 ・事業を円滑に実施するための理事会の運営。	通年	東京	11	50
その他	オンラインで労働環境の構築（ZOOMやバーチャルオフィスの利用等）	通年	東京	5	50

3 2023年次の役員を選任に関する事項

a) 理事会役員について 理事会より2021年次の理事および監事の候補の方を紹介しします。(順不同)

新・継続	氏名	役職	居所	紹介文
継続	中島 早苗 (なかじま さなえ)	理事 【代表】	新潟	FTCを日本で紹介しFTCJを1999年に設立して以来、活動に従事。04～05年度代表理事に就任後06～09年度に副代表理事兼事務局長に就任、10年度から代表理事に再任。
新規	原元 望 (はらもと のぞみ)	理事 【副代表】	山口	2000年の高校生時代から活動に従事。2010年まで理事を務め、2011～2021年度まで事務局長として事務局全体の運営や組織基盤強化を担当する。2013年「アーユスNGO新人賞」を受賞。
継続	出野 恵子 (いでの けいこ)	理事 【事務局長】	東京	03年度より海外自立支援のインドを担当し、活動に従事。07年度より理事に就任。09～11年度まで事務局長を兼任し国内事業のほか組織基盤強化を担当。副代表理事を経て、22年より事務局長に再任。
継続	伴野 保志 (とも の やすし)	理事	東京	2000年から活動に携わり、04～05年度に副代表理事に就任後06～09年度まで代表理事に就任。事務局では外部ネットワークチームリーダーや、総務担当として活動。10年度から副代表理事に就任。その後2018年より理事に就任。
継続	藤井 裕子 (ふじい ゆうこ)	理事	兵庫	2007年にフィリピンへのスタディツアーに参加して以来、正会員として団体の組織運営を始め、関西での子どもの活動や出張講演サポートなど活動に従事。2016年から理事に就任。
継続	志賀 アリカ (しが ありか)	理事	長野	09～11年度まで子ども代表委員として活動に参加し事務局運営や子ども主体事業企画運営に携わり、子どもメンバーとして積極的に活動を展開。2012年よりユース理事に就任。16年より社会人理事。
継続	林 大介 (はやし だいすけ)	理事	東京	東洋大学社会学部助教、子どもの権利条約ネットワーク事務局長、川崎市子どもの権利委員会委員、模擬選挙推進ネットワーク事務局長等を就任。1976年東京生まれ3児の父親。FTCJにおける子どもの権利推進擁護活動の充実のため、2017年度より理事に就任。
継続	中島 慎治 (なかじま しんじ)	理事	新潟	1999年にフィリピンの子どもの権利活動家の少女ピア(商業的性的搾取の被害者だったが12才の時FTCJのパートナー団体ブレダ基金に保護され活動家に)来日時のドキュメンタリー番組を制作したことからFTCJと接点を持つ。NHK報道局チーフプロデューサー。2019年から理事に就任。
継続	松下 耕二 (まつした こうじ)	理事	東京	阪神淡路大震災でACのTVCMを見て、高校生ボランティアに参加。世界を良くするためにCMプランナーを志す。広告会社に勤務。2019年MBA取得、修士論文は「非営利組織の経営戦略」。2児の父。2020年度より理事会より理事に就任。
継続	倉下 由香 (くらした ゆか)	監事 (会計)	東京	2011年度より事務局の会計スタッフとして5年間勤務し、FTCJの活動を支えた。2018年度より新たな会計監事に就任。
継続	宮島 珠 (みやじま たま)	監事 (会計)	神奈川	NPO法人取得から会計監査としてFTCJの活動を支えたのち、2019年の休みを挟み、2020年度より再度会計監事に就任

▼2022年度をもって退任される理事:竹内美紗子さん

2016年度から2022年度まで理事として多大なるご協力頂き、組織を支えて下さり本当にありがとうございました。

b) アドバイザーの紹介

◆長田 和弘(おさだ かずひろ) 税理士、中小企業診断士、准認定ファンドレイザー

税理士法人勤務を経て2019年2月長田和弘税理士事務所を開業。中小企業・NPOに対するクラウドソフトによる会計支援、業務効率化支援を中心に実施。経営計画策定支援、資金調達支援、助成金・補助金申請、認定NPO支援などを得意とする。

◆河合 将生 (かわい まさお)氏

NPO・NGOの組織基盤強化やファンドレイジング、マネジメントのコンサルタントや、組織の協働・連携のコーディネイト及び国際協力やキャリア育成に関する相談・講演を行うoffice musubimeの代表

◆平尾潔(ひらおきよし) 弁護士

日本弁護士連合会所属、世田谷区せたがやホッと子どもサポート委員。

◆堀内 光子 (ほりうち みつこ)氏

労働問題や女性の権利の分野での研究・専門家。公益財団法人アジア女性交流・研究フォーラム 理事長、地球憲章国際審議会委員、児童労働ネットワーク代表。また、2006年よりフリー・ザ・チルドレン・ジャパンの活動をサポート。